

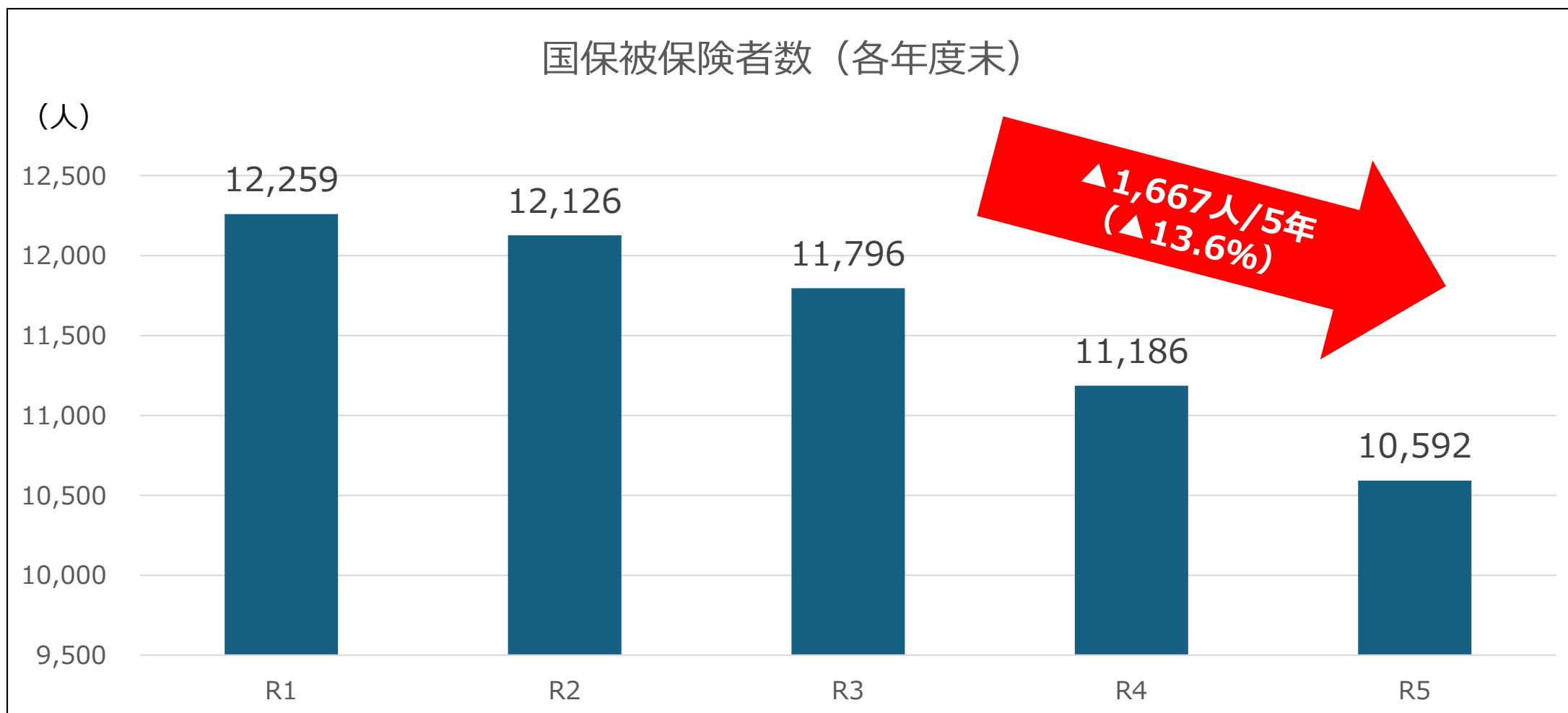
# 山陽小野田市国民健康保険の概況

---

令和6年8月8日（木）  
山陽小野田市保険年金課

# 被保険者数の推移

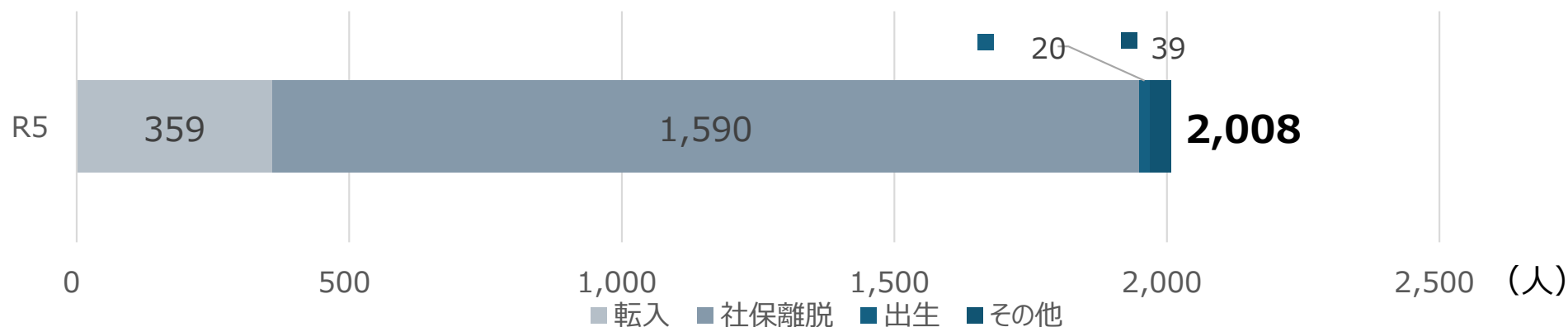
本市の国民健康保険の被保険者数は年々減少傾向にあります。  
令和元年度から令和5年度までの5年間で、被保険者数は1,667人（13.6%）減少しています。



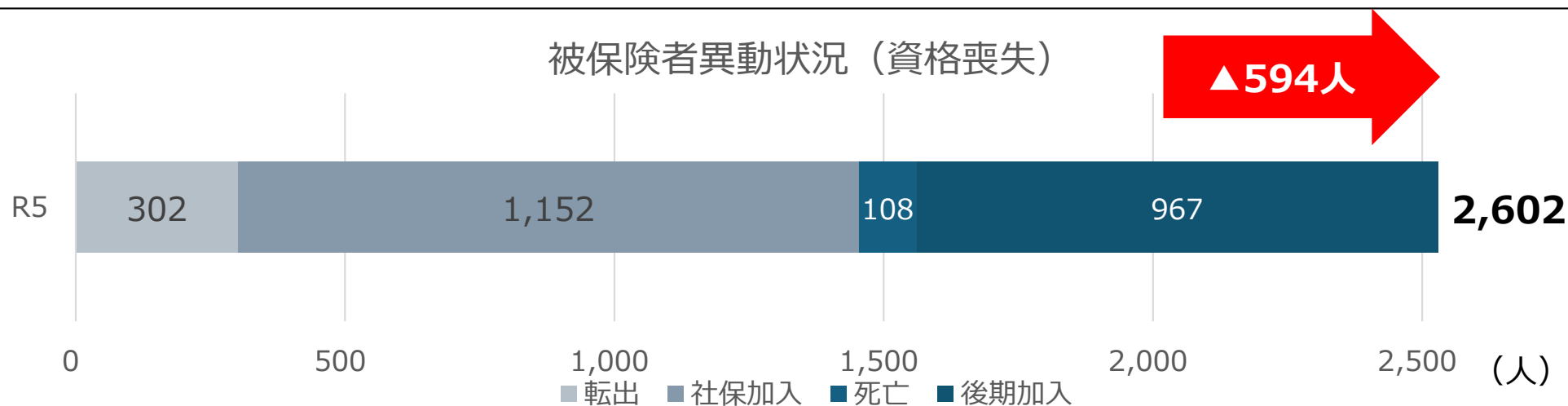
# 被保険者の異動状況

令和5年度の資格取得と資格喪失の異動事由をみると、資格取得では、社保離脱がもっとも多く（1,590人）、計2,008人が加入しており、資格喪失では、社保加入が最も多く（1,152人）、次いで後期加入（967人）で、計2,570人が脱退しています。差し引き、594人の被保険者が減少しています。

被保険者異動状況（資格取得）

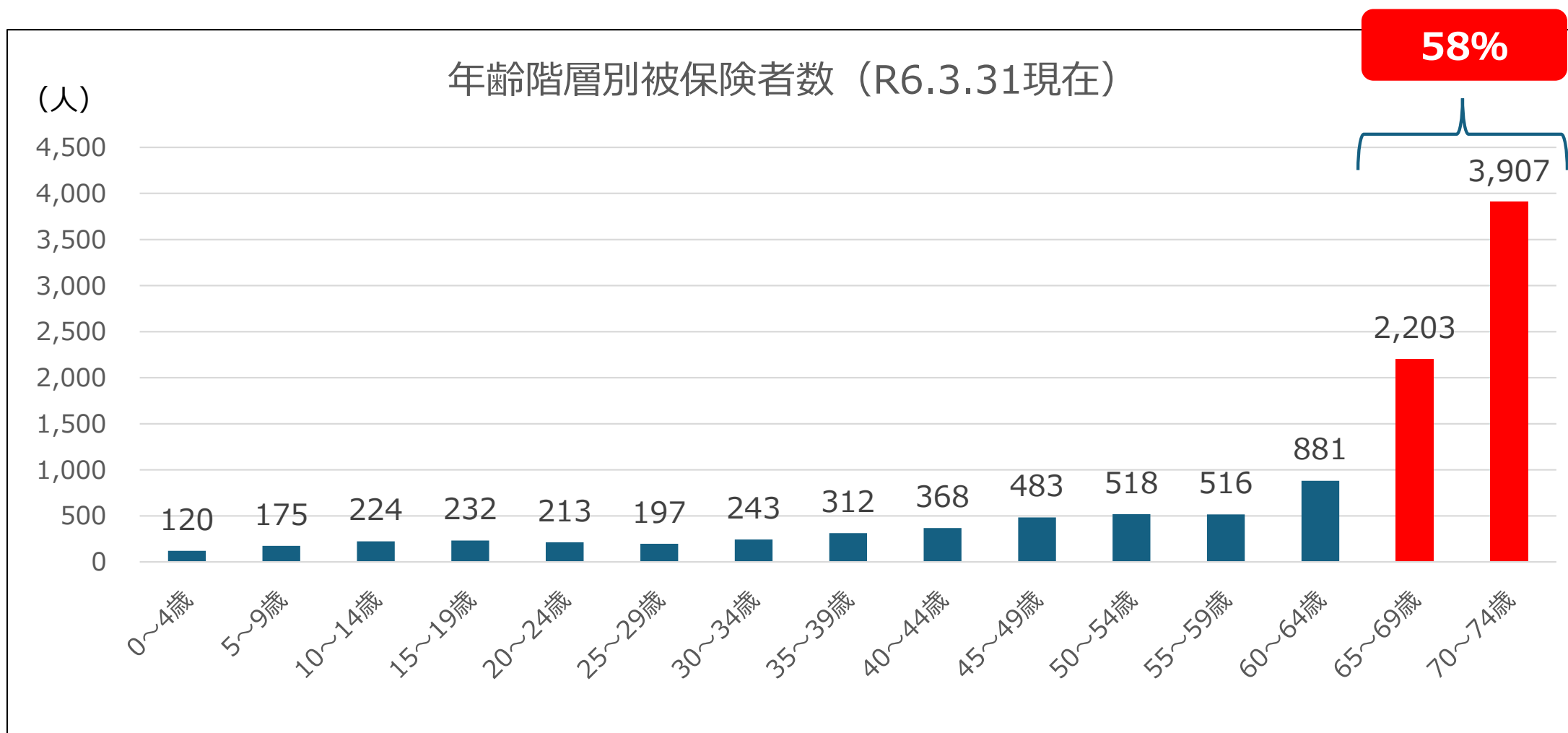


被保険者異動状況（資格喪失）



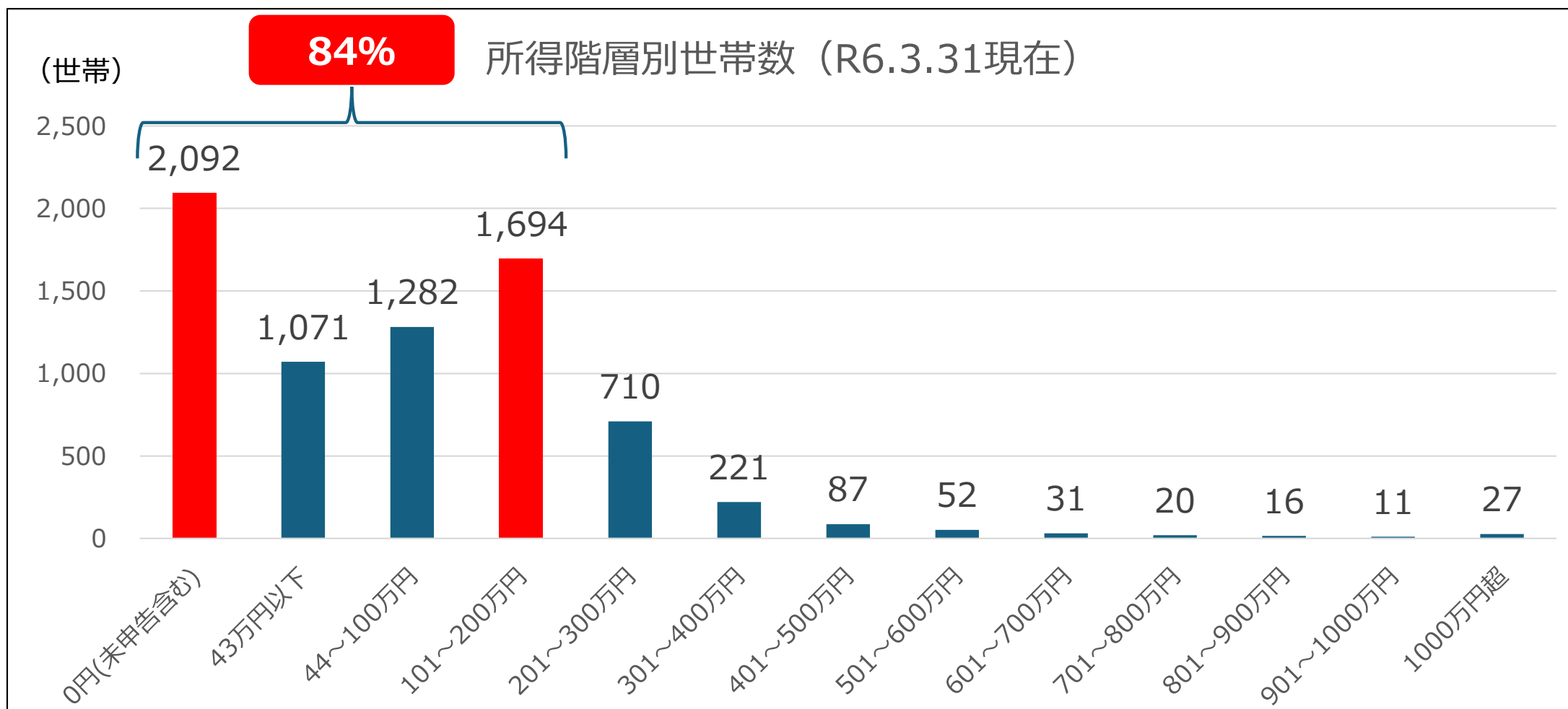
# 年齢構成別被保険者数

国民健康保険に加入している被保険者の年齢構成は、70～74歳が最も多く（3,907人）、次いで65～69歳（2,203人）となっています。  
65歳以上の被保険者が、全被保険者のうち**58%**を占めています。



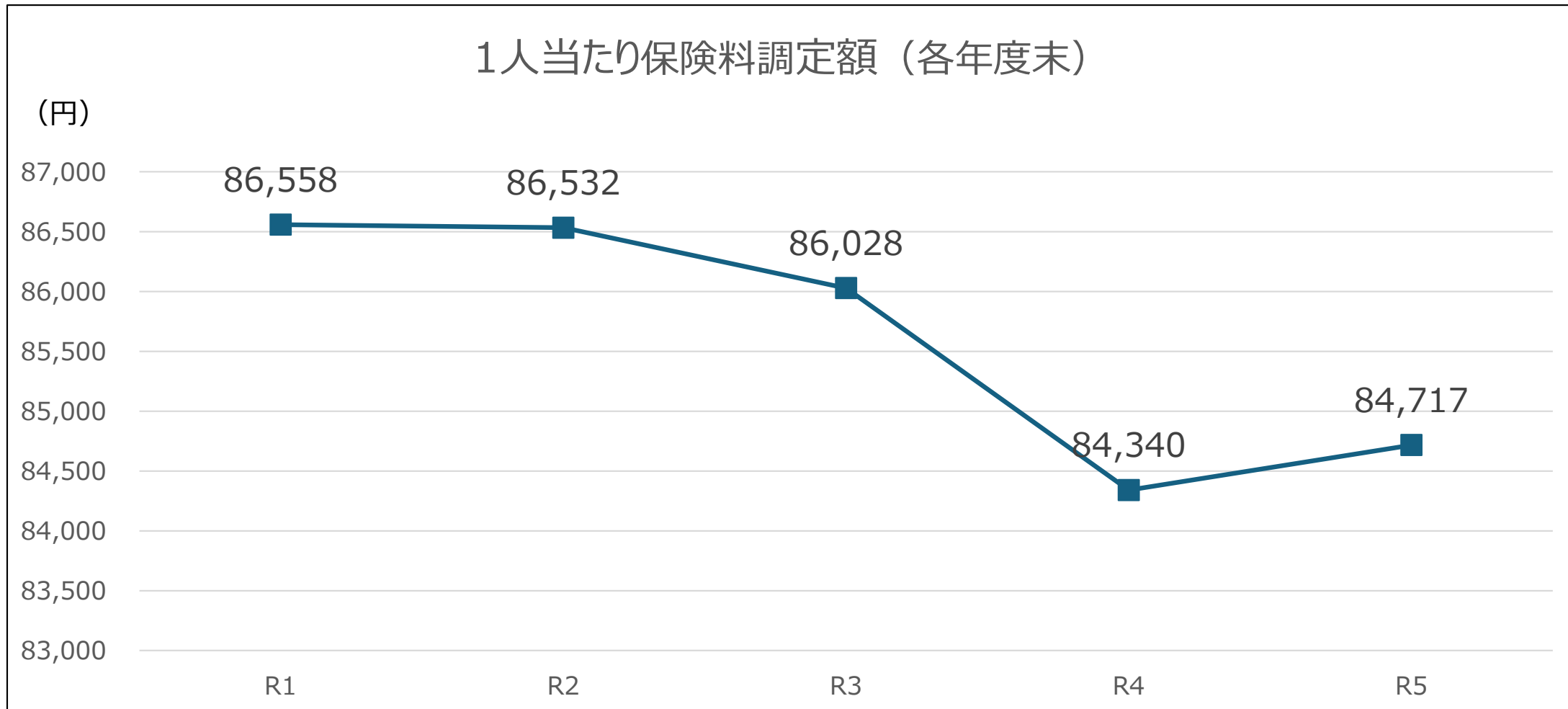
# 被保険者の所得階層別世帯数

国民健康保険に加入している世帯の所得階層は、所得が0円の世帯が最も多く（2,092世帯）、次いで101～200万円の世帯（1,694世帯）となっています。  
所得が200万円以下の世帯が、全世帯のうち**84%**を占めています。



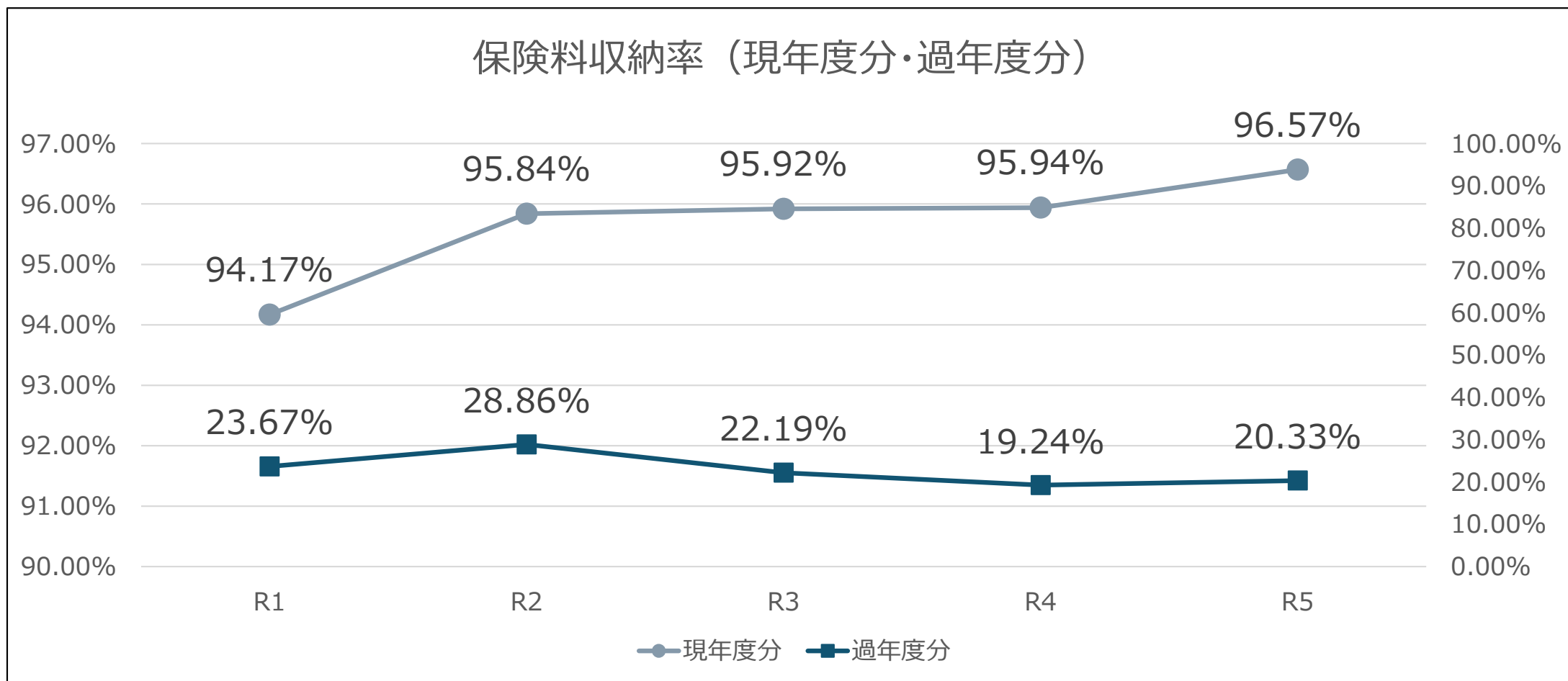
# 1人当たり保険料調定額の推移

1人当たりの保険料調定額は年々減少傾向にあります。



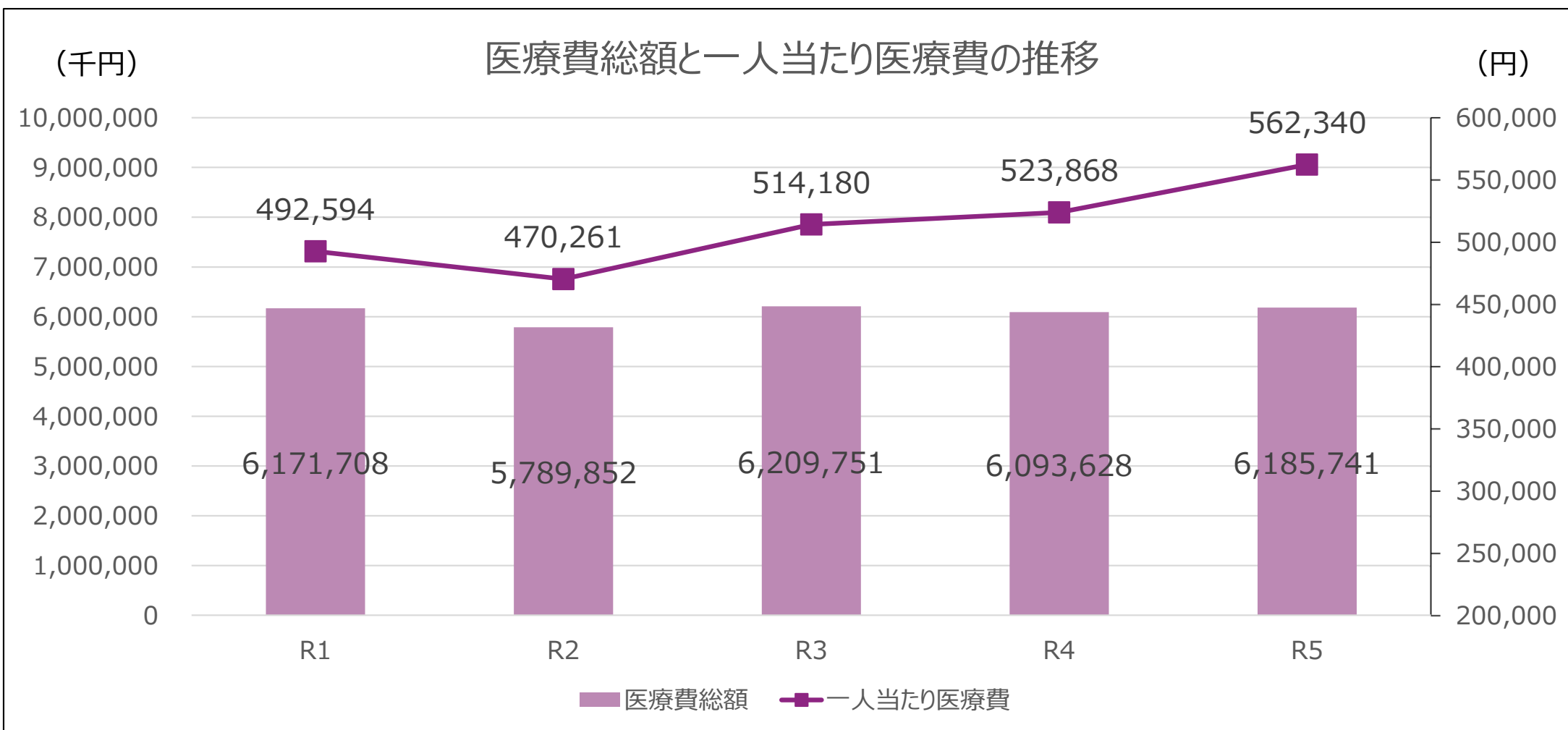
# 保険料収納率の推移

現年度分の保険料の収納率は、滞納者対策の取組や納付機会の充実を行ってきた結果、年々上昇傾向にあります。  
過年度分の収納率は、滞納分の未納額が減少していることもあり、横ばいとなっています。



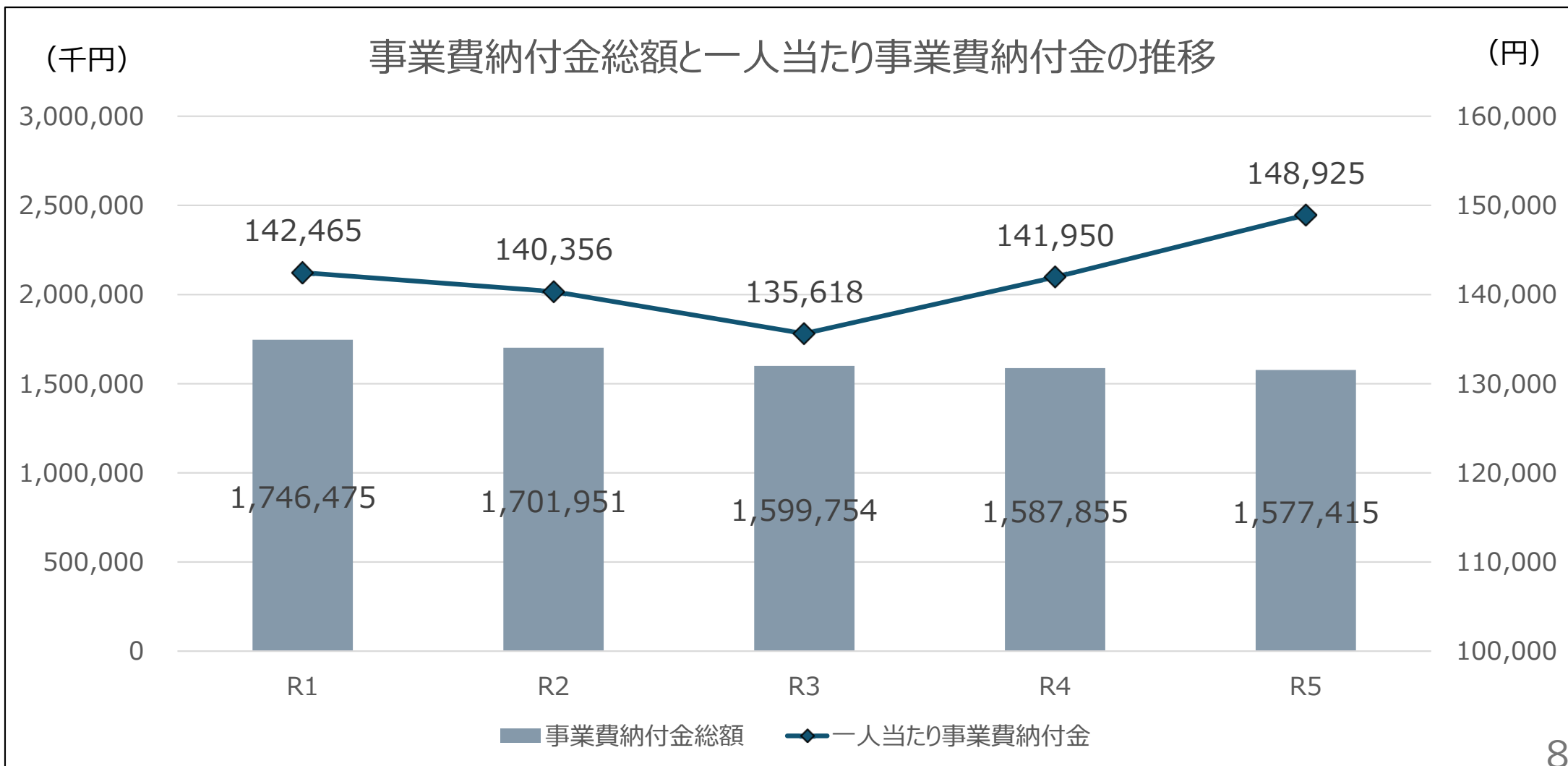
# 医療費の推移

本市国民健康保険に係る医療費（入院、外来、歯科、調剤などの医療に要した費用の総額）は、年度によって増減はあるものの横ばい傾向ですが、一人当たりの医療費で見ると、年々増加傾向にあります。



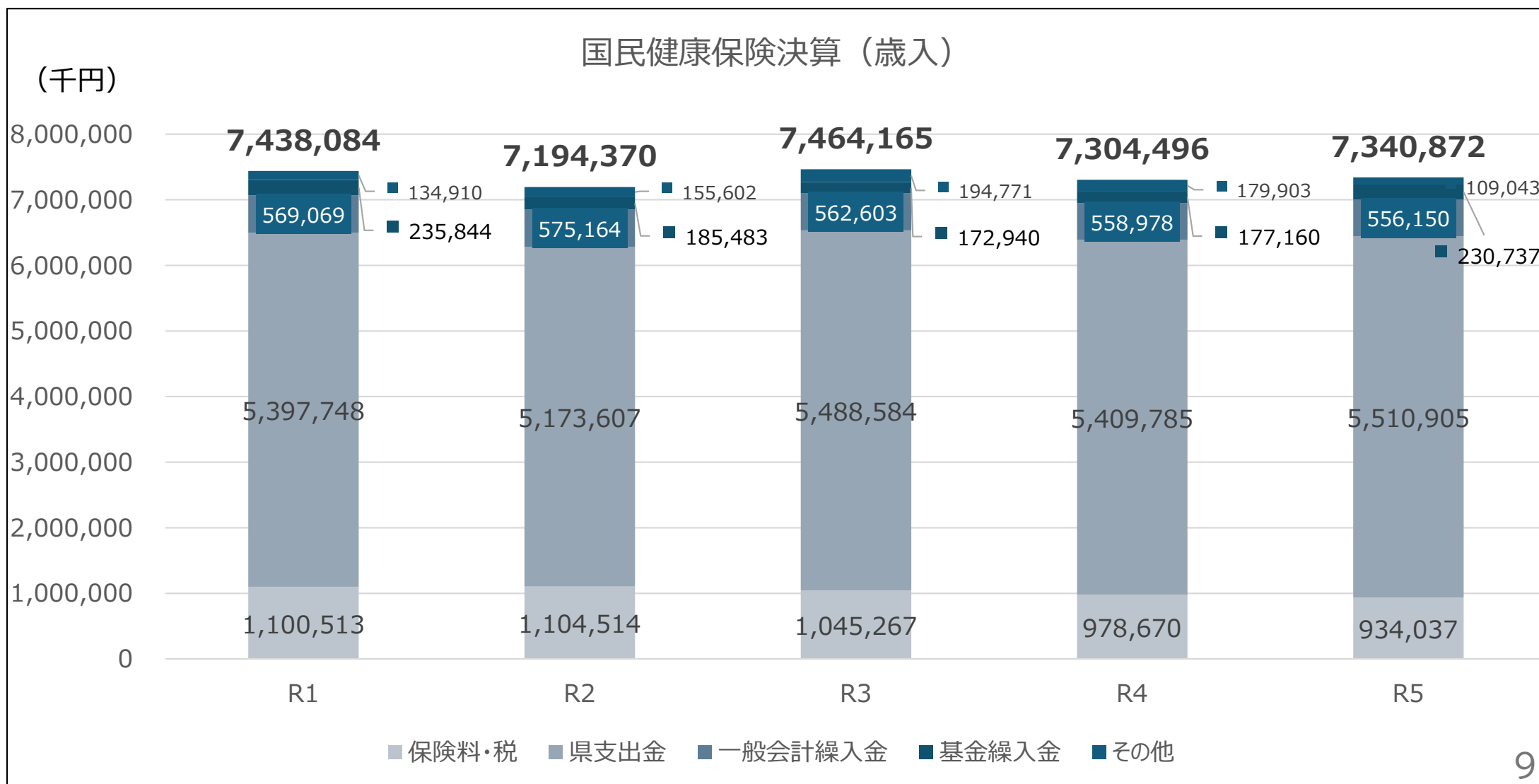
# 事業費納付金の推移

平成30年度の制度改革により、県が財政運営の責任主体となった以降、県に納付している事業費納付金は、減少傾向にあるものの、被保険者一人当たりの事業費納付金の負担額で見ると、被保険者の減少に伴って年々増加傾向にあります。



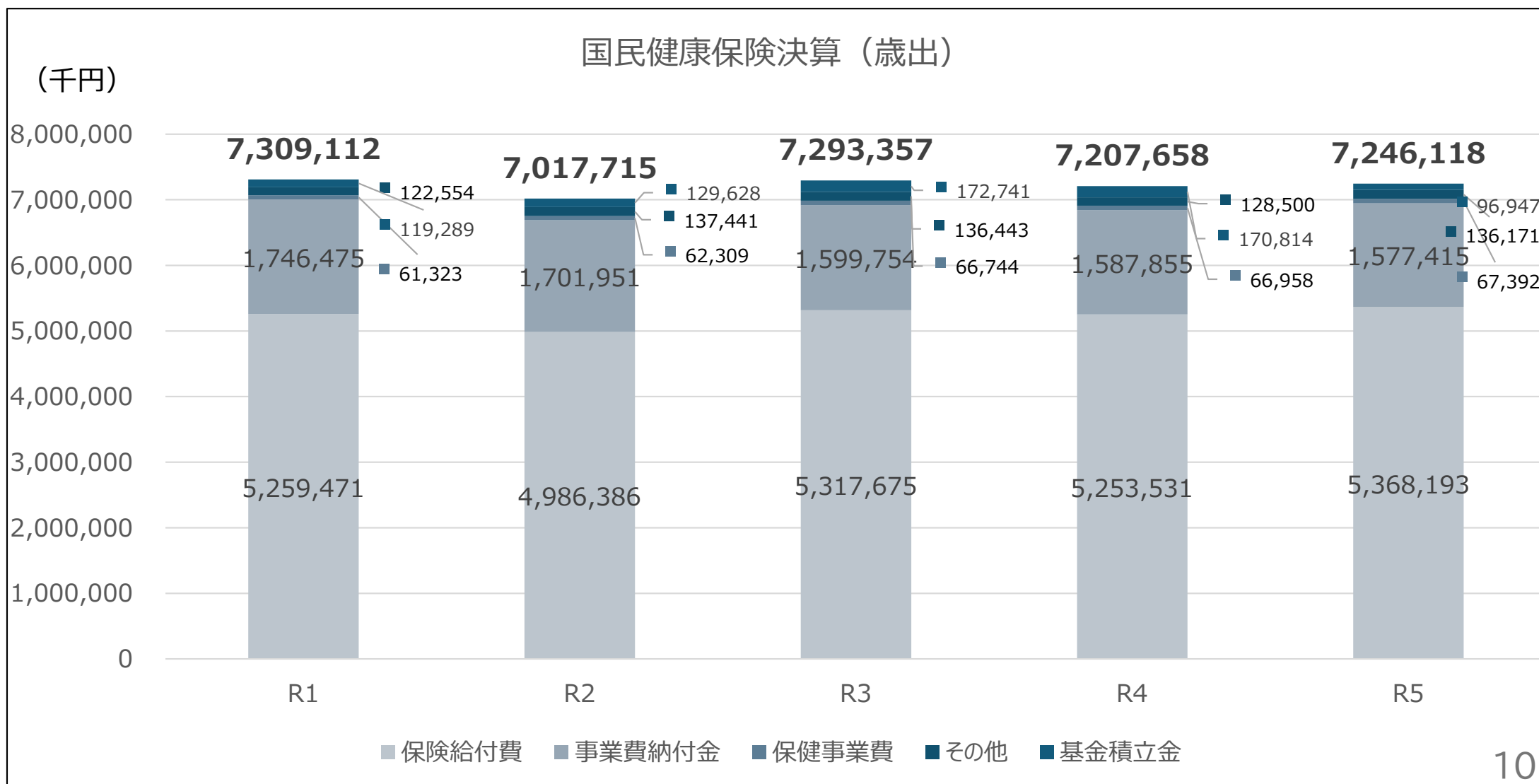
# 国民健康保険決算（歳入）の推移

国民健康保険決算の歳入総額は、ほぼ横ばい（約70億円規模）で推移しています。  
内訳で見ると、保険料収入は減少傾向にあり、県支出金と基金繰入金が増加傾向にあります。



# 国民健康保険決算（歳出）の推移

国民健康保険決算の歳出総額は、ほぼ横ばい（約70億円規模）で推移しています。  
内訳で見ると、保険給付費は増加傾向にあり、前述のとおり事業費納付金は減少傾向にあります。



# 基金残高の推移

国保財政の安定化や被保険者の保険料の負担軽減等を目的とした国民健康保険基金の残高は、令和元年度から令和5年度までの5年間で、**約2億円**減少しています。  
今後も、持続可能な国保財政の運営を行っていくため、適切な基金の運用や料率設定を検討していく必要があります。

